

現場で働くヘルパーさんの声



vol.4(平成 24 年 2 月)

世間で介護とは？といろいろ騒がれ始めたころ、50歳の半ばにさしかかる私が、ヘルパーという勉強に挑戦し、仕事に携わって、早くも7年。細く長く自分なりによく続いたと思っています。これも、生協という環境の下で、そしてしっかりとした、より良いスタッフに恵まれたことと思っています。

60歳を過ぎた私にとって、あと何年続けられるかわかりませんが、皆さんとともに頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いします。

Tさん



vol.3(平成 24 年 2 月)



ヘルパーになって1年、利用者さんとの関わりの中で、コミュニケーションをとること、相手の気持ちに寄り添うこと、受け入れることが大切であり、難しいということを感じてきました。

ある時、時間に追われながら、買い物や掃除ばかりをこなし、ふと会話がなかったことに気がついて、利用者さんに体調などお伺いすると、せきをきったように利用者さんは、不安などを話し出したということがありました。

ヘルパー講習の初日、一番最初にあったお話が、「福祉 = 幸福」ということ。利用者さんが、幸福のために一番何を求めているのか、利用者さんの心に寄り添った援助を、これからも心掛けていこうと思っています。

Mさん



vol.1(平成 23 年 11 月)



母に勧められ、昨年の8月にヘルパー2級の資格をとり、すぐに働き始め、あっという間に1年が経ちました。もちろん初めは不安ばかりで、本当に自分にできるのだろうか・・・という気持ちをなかなか消すことが出来ませんでした。でも、自分が利用者だったら、不安がっているヘルパーさんに介助されるのは、やはり嫌だなと思い、不安にならないくらい頑張ってみよう、と必死に仕事をしてきてみました。そして1年たった今、やっと「ヘルパーの〇〇です。」と自信を持って言えるようになり、最近デイサービスの仕事も始めました。

今では利用者さんと会話も楽しめる余裕も出来て、利用者さんの笑顔や、ありがとうという言葉にとても励まされ勇気づけられています。

まだまだ新米の私ですが、人としての大事なことを教えてくれる素晴らしい職場だと思うので、せっかく出会えたこの仕事をこれからも頑張っていきたいと思っています。

Oさん